

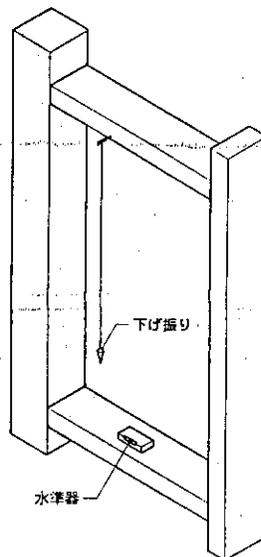
お願い

- この説明書は必ず施工される方にお渡しください。
- 電気配線工事は電気工事店様にご依頼ください。
- 赤外線リモコンを使用する場合は乾電池(単3×2個)を準備してください。
- 壁スイッチの配線は同梱の接続コードを使用してください。
- スイッチは当製品専用のもの以外は使用しないでください。(赤外線リモコンEASY 121・壁スイッチEASY 410・センサー付アダプタEASY 203・センサー付壁スイッチEASY 403)
- AC 100V以外の電源は接続しないでください。
- 接続コードの継ぎ足しはしないでください。
- 電源線及び接続コードは引っ張らないでください。
- 本体にラジオ、テレビのアンテナ及び配線を近接すると受信障害が生じるおそれがありますので3m以上離してください。
- 本体の赤外線リモコン受信部にインバータ照明器具が近接していると、インバータの影響によりリモコンでの操作ができない場合がありますので壁スイッチをご使用ください。

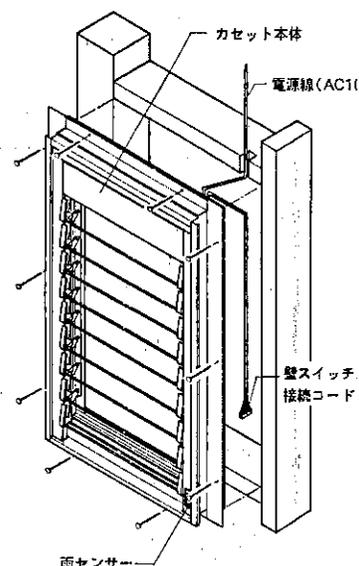
取付け順序

1. 開口部の作り方(図-1)

※開口部の水平・垂直が正しくないと、ルーバー部の開閉に支障をきたしますので開口部は念入りに調整してください。



2. 本体の仮取付け(図-2、3)

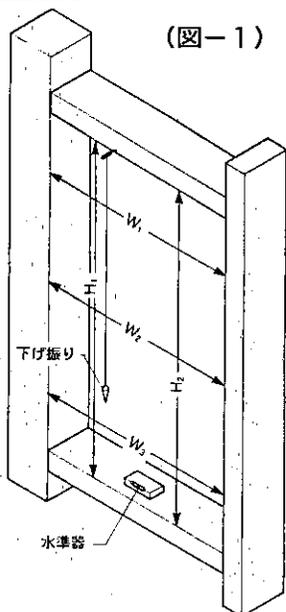


取付け詳細図

1 開口部の作り方

(標準・温度可変集中制御タイプ)

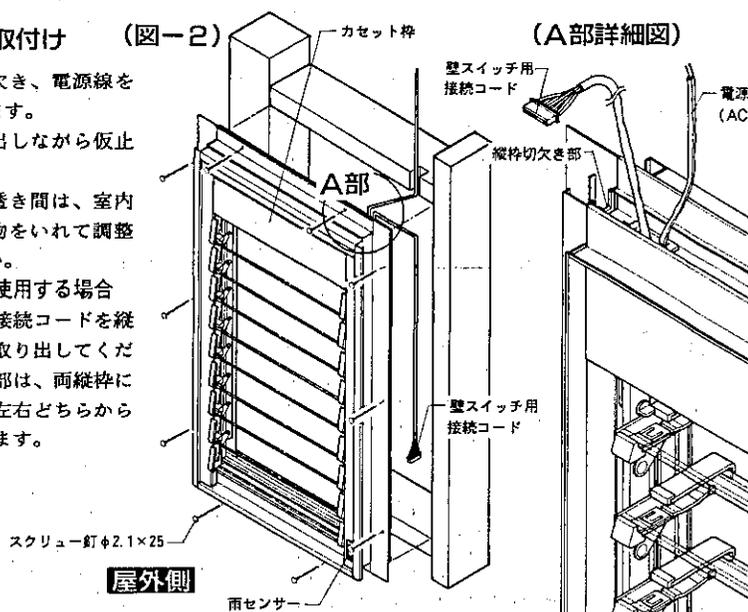
- 開口幅はサッシ基本寸法(W)+10mmにします。
- 開口高さはサッシ基本寸法(H)+5mmにします。
- ※サッシ基本寸法はカタログをご覧ください。
- 右図の(W₁、W₂、W₃)及び(H₁、H₂)に差があると、モーターに負担がかかり開閉の作動に支障が出ますので、開口部を確実に作ってください。



2 本体の仮取付け

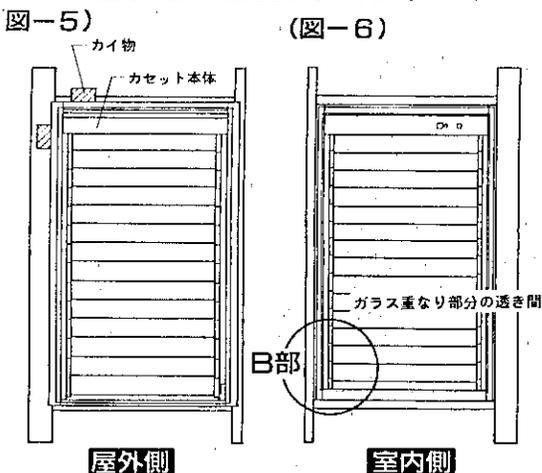
- (1)まぐさを切欠き、電源線を上部に出します。
- (2)枠の直角を出しながら仮止めます。
- (3)躯体と枠の透き間は、室内側からカイ物を入れて調整してください。

- 壁スイッチを使用する場合
壁スイッチ用接続コードを縦枠切欠きから取り出してください。切欠き部は、両縦枠にありますので左右どちらからでも取り出せます。

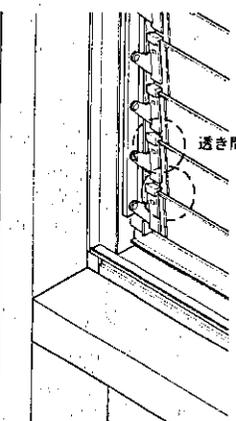


5 建付け調整

- ルーバーのガラスが完全に密閉しておらず、透き間がある場合は、本体がゆがんでいます。枠の固定釘をゆるめ、下図のようにカイ物を入れて屋外から調整した後、本固定をしてください。

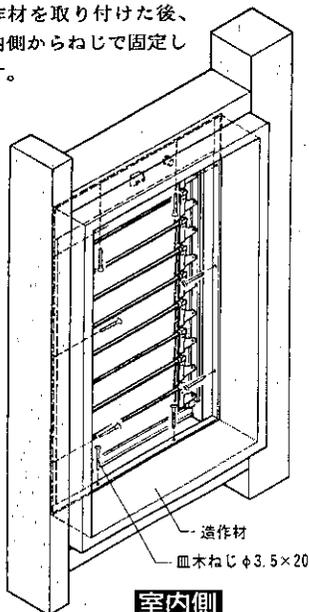


(B部詳細図)



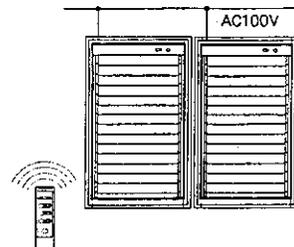
6 本体の固定

- 造作材を取り付けた後、室内側からねじで固定します。

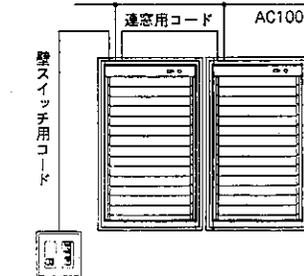


7 電気配線工事(図-8)

- リモコンのみ(標準タイプ)

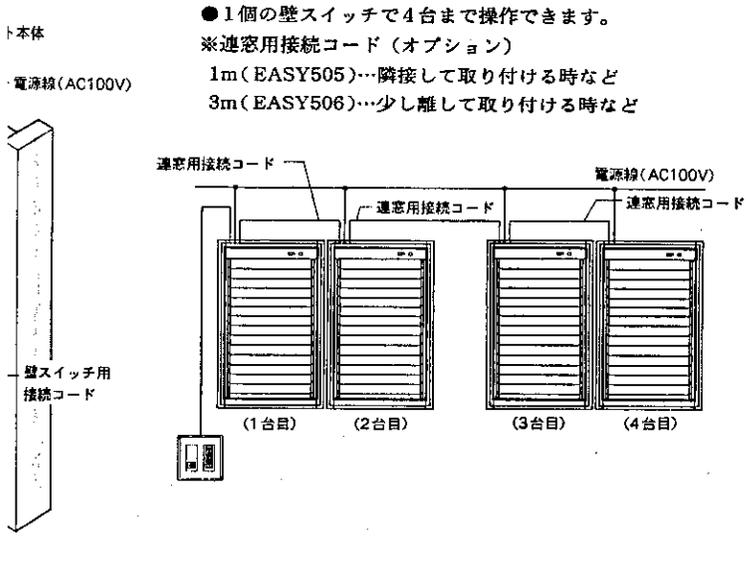


- 壁スイッチ連窓接続(標準タイプ)



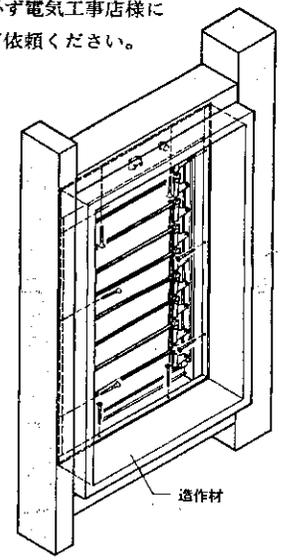
(詳しくは「集中制御システム電気工事のご案内」)

4-2, 3) 3. 標準タイプの連窓接続(図-4) 4. 作動の確認 7. 電気配線工事(図-8)



※組立て説明書の「作動の確認」を必ずお読みください。
 ※取扱説明書の「操作方法」によって作動の確認をしてください。

※必ず電気工事店様にご依頼ください。

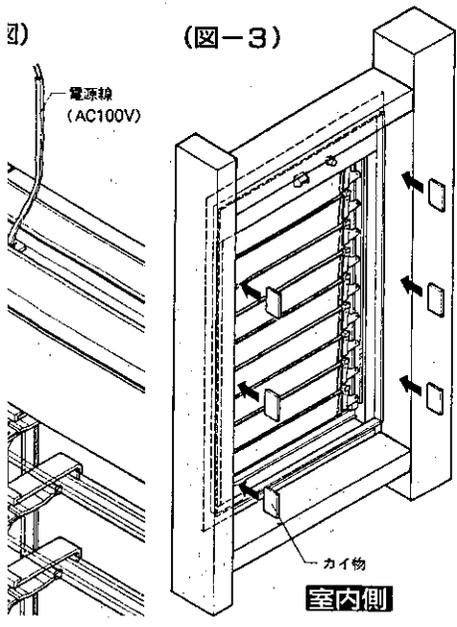


5. 建付け調整(図-5, 6)

※調整は必ず本固定をする前に行なってください。

6. 本体の固定(図-7)

4連窓まで同じやり方です。(3台目へ)



3 連窓接続(標準タイプ・壁スイッチ使用時のみ)

※連窓する場合は、組立て説明書を必ずお読みください。
 (1)組立て済の状態からカセット枠を外します。
 ※カセット枠内で接続されているコネクタを全部外してください。
 (2)本体を開口部に取り付ける際に連窓用接続コードを開口部通し穴(または切り欠き)を通して上枠内に出します。
 (3)最後にカセット枠を取り付ける際に上枠内に出ている各コード類をカセット枠内で接続し直します。
 ※配線忘れ防止のため、以上の順番で行なってください。
 ※連窓接続する場合のカセット枠の取り外し、配線の引き出しは施工される方が行なってください。AC100Vの屋内配線との接続は電気工事店様にご依頼ください。

